

株式会社システムサポート
第 44 回定時株主総会 質疑応答要旨

2023 年 9 月 27 日

於：石川県文教会館 1 階ホール

【事前のご質問】

Q1.

記念配当金の計画について聞かせて欲しい。

A1. (議長、代表取締役社長 小清水)

記念配当金を出されている会社がある事は存じているが、当社は、中期経営計画を着実に遂行していくことで事業成長につなげ、今後も可能な範囲で株主様への利益還元に努めていく方針であるため、普通配当金による還元を優先し、記念配当金の実施については、本日時点においては検討していない。

【当日の会場からのご質問】

Q1.

生成 AI について、ChatGPT への世間の関心は高い。当社も ChatGPT をプログラミングに活用するなど、生産性向上を目的とした生成 AI の社内活用は現状どうなっているか聞かせてほしい。また、マイクロソフト傘下の GitHub が提供している AI によるコード生成サービス「GitHub Copilot」について、他社で活用が進んでおり、導入後の利用実績の発表などもされている。ぜひ当社もそういった最新のサービスをキャッチアップして社内導入を検討したらどうか。

A1. (議長、代表取締役社長 小清水)

生成 AI 活用の現状について、当社は特に Microsoft の Azure OpenAI Service に力を入れている。2023 年 5 月のニュースリリース以降、多くのお客様から様々な要望をいただいております。また成約にも至っている。

社内においては、当社のクラウドビジネスにおける問い合わせ対応業務について ChatGPT を活用したテストを行っており、今後は Azure OpenAI Service の全社導入を計画している。また、総務部においても、社内の広報文章の作成などに生成 AI の活用を開始している。

プログラミングの分野においても、生成 AI の活用について、各部署から興味のある人材を集めて

社内で研究開発している状況にある。GitHub の活用については社内で検討したい。

Q2.

増資をしたらどうか。

A2. (議長、代表取締役社長 小清水)

増資によって当社にどのような効果がもたらされるのかを含め検討したい。

Q3.

招集通知に記載のある「常識に捉われずに物事を多面的にとらえ新たな価値を生み出す」とはどういったことが聞かせて欲しい。

A3. (議長、代表取締役社長 小清水)

当社は金沢にある会社であるが、事業の中心は首都圏含めた東名阪である。地方から出てきた会社が首都圏などで戦うためには独自の強みを持っていないと難しいというのがこれまでの歴史であり、常に1歩か1歩半、先を見据えた取り組みが必要であった。多面的な分野で様々なものをリサーチしながら見極め、常識にとらわれずに尖った強みを創出し、また、アメリカの子会社を通じて最先端の技術をいち早くつかんで国内で展開する、こういったことをこれからも続け、事業運営をしていきたいと考えている。

【当日のオンラインからのご質問】

Q1.

退職率が5%台とIT業界としては低い水準にあると思うが、退職率が低い要因は何だと考えているか。

A1. (議長、代表取締役社長 小清水)

IT業界の退職率は11~12%であるが、当社は5%前後であり、退職率は低い傾向である。その要因としては、当社は技術者が中心の会社であり、技術者が常に新しい技術を身につけるための資格取得を会社が全面的に支援している。具体的には、資格取得の勉強をしている時間に対しても給料を支払っており、資格取得した際には一時金もしくは資格手当を支給するなどの投資を行っている。

同時に、ワークライフバランスの継続的な検討として、2020年よりテレワークを導入しており、現在は75%の社員が在宅で勤務できるような環境を整えている。また、全社員を対象に年2回従業員満足度調査と、それに基づく改善活動を実施しており、こういった労働環境の向上等の取り組みが退職率の低い水準の要因になっていると考えている。

Q2.

人材の多様性確保が話題だが、女性の活躍についてどのように取り組んでいるか。

A2. (議長、代表取締役社長 小清水)

女性社員の比率は、情報サービス業界の平均は 24.9%だが、当社は 29.8%である。これは女性も積極的に採用していることに加え、休暇制度や労働環境の整備、育児復帰社員に対する研修等によるものだと考える。今後もこれら施策を継続し、更なる女性活躍の推進を図っていく。

※内容につきましては、ご理解いただきやすいよう部分的に加筆・修正をしております。

以 上